平成26年度 榿原市環境審議会会議録

日 時 : 平成26年12月2日(火) 午後2時00分～3時30分

場 所 : 榿原市役所本庁舎4階 第一会議室

出席委員 : 久会長、遊津副会長、西村委員、楨村委員、小西委員、米田委員、梅本委員、
諫原委員

欠席委員 : 上田委員、森本委員

事務局 : 藤本生活環境部長、加藤環境保全課長、生駒課長補佐、
井上統括調整員、高森主査

議 題 : 榿原市環境総合計画について

【事務局】

定刻になりましたので、ただいまより、平成26年度榿原市環境審議会を開催いたします。私は榿原市環境保全課長の加藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

この環境審議会は、お手元にあります環境総合計画の冊子を平成24年度に11月22日と2月5日の2回、審議会の委員の皆様にご審議をいただき、環境総合計画を策定いたしました。その後、昨年度平成25年度の2月28日に環境審議会を開催いたしました。その節は大変ありがとうございました。

今から2年前の平成24年11月22日に環境審議会の委員として、皆様方を委嘱させていただきました。環境審議会の規則として、委員の任期は2年とし、再任されることが出来るとなっております。皆様方には、事前に電話やメール等で再任をお願いしたところ、快くご承諾いただきまして、誠にありがとうございました。

委員の中で、一般市民の代表者ということで、榿原市自治委員連合会長として、この4月から米田勝彦様が新しく環境審議会の委員に就任されました。米田連合会長、どうかよろしくお願いいたします。

委嘱状につきましては、本来ならお一人お一人にお渡しすべきところですが、事前の資料を送付させていただいた際に、同封させていただきましたので、これをもって委嘱状の交付とさせていただきますので、ご了承をお願いします。

また本日、委員の欠席を予め伺っています。森本俊一榿原市商工会議所会頭、上田逸朗榿原市農業委員会会長より、本日欠席ということで大変申し訳ありませんというご連絡をいただいております。

2名の方のご欠席がありますが、榿原市環境審議会規則により、出席がありますので、会議は成立するということですので、よろしくお願いいたします。

先日、11月20日付けで久会長のお名前で、本日の環境審議会開催の通知文をお送りいたし

ました。先ほど申し上げましたとおり、改めて、環境審議会の委員の再任をお願い申し上げますので、会長と副会長を決めなければなりません。

環境審議会規則では、委員の互選により会長を選出し、副会長は委員の中から会長が指名するとなっております。平成 24 年度に初めてこの環境審議会を開催した時には、会長に近畿大学総合社会学部教授の久隆浩先生、副会長に奈良県地球温暖化防止推進センターの遊津隆義センター長が選出されました。今回、改めて会長を選出しなければなりません、皆様、どのようにさせていただいたらよろしいでしょうか。

【委員】

事務局一任でお願いします。

【事務局】

事務局一任とのお声をいただきましたので、事務局からご推薦させていただいてよろしいでしょうか。

【委員】

異議なし。

【事務局】

事務局としましては、引き続き久先生に会長をお願いしたいと考えておりますが、皆様よろしいでしょうか。

【委員】

異議なし。

【事務局】

それでは、久先生に会長をお願いしたいと存じます。久先生よろしくお願い致します。ここで、皆様に選任いただきました久先生には会長の席にお移りいただきまして、また併せて橿原市環境審議会規則の第 2 項の規定により、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する副会長をご指名いただきたいと思います。

【会長】

副会長には奈良県地球温暖化防止活動推進センターの遊津隆義氏にお願いします。

【事務局】

ありがとうございます。それでは、遊津センター長、副会長をよろしくお願いします。お

席の移動をお願い致します。

それでは、開催にあたりまして、資料をお手元に置いております。本日の資料を確認して頂きたいと思います。

◆資料 1 から 4 及び参考資料 1,2 について説明

続きまして、皆様方にお願いがございます。当審議会の議事録作成のためテープを録音させていただきます。また、情報公開の原則によりまして、傍聴の自由を認めていることが通例となっております。「樫原市審議会等の設置及び運営並びに会議の公開に関する要綱」により、審議会の開催を市ホームページにおいて周知し、希望者の傍聴を認めております。

なお、個人に関する情報や法人その他の団体で個人の競争上の地位、財産権その他正当な利益を害する恐れのある場合、素直な意見交換もしくは意思決定の中立性が損なわれる恐れのある場合は、皆様方に諮りまして非公開とする手続きをとりたいと思います。そのようなことをご了解願いまして、進めて参りたいと思いますので、皆様よろしくお願いたします。

また、記録用の写真を撮影させていただきますので、ご了承いただきたいと思います。

それでは、お手元の次第に従いまして、ここからは、久会長、どうかよろしくお願いたします。

【会長】

それでは改めまして、ご指名でございますので、皆様方のお力を借りながら今期も環境審議会を無事進めて参りたいと思います。今日から環境総合計画の進捗管理をしっかりさせていただくということになりますので、また今日も忌憚のない意見を賜りたいと思います。どうかよろしくお願いたします。

それでは、只今より議題を進めていきたいと思いますが、今日は一つございまして「環境総合計画について」ということで、前期作らせていただきました計画の進み具合、進捗状況を振りかえらせていただきたいと思います。前期の最後の方には中間報告はいただきましたが、25年度の全体の総括が出てまいりましたので、その進捗状況と今年度かなり事業が進んでいますが、その内容、そして今後の方向性を含めまして事務局から説明いただけるとと思います。

【事務局】

前回、平成 26 年 2 月に環境審議会を開催しましたが、それからだいぶ月日が経っておりますので、環境総合計画についてももう一度概要版に基づいて説明したいと思います。

参考資料1 檜原市環境総合計画概要版 について説明

【事務局】

行政施策である環境総合計画の第4章、基本目標を実現させるための取組みの進捗状況を報告させていただきたいと思います。

資料1 主要施策の状況

資料2 実施状況評価一覧

資料3 施策指標 について説明

【会長】

ありがとうございます。

【事務局】

資料4 市民協働プロジェクト について説明

【会長】

どうもありがとうございます。他部の状況ですが、全てご説明いただけませんでした、資料に沿って色々ご意見賜ればと思います。

実質的には昨年度の実績ですが、まだまだ取り組めてないところもございますので、昨年度の実績だけではなく、今年度以降どのような形で進めていったら良いのかアイデアもいただければありがたいと思っております。

いかがでしょうか。ご意見ご質問賜ればと思います。

私が全般的に見させていただいて、環境保全課は色々取り組んでいるのは非常に伝わってきますが、外の部署はDが多いかなというような感じですね。特に都市整備の方々は頑張らないといけないような、例えば自転車道の整備であったり、そういったところをより頑張ってもらいたくともっと、他の組織にも繋がるのではないかと思います。そのあたり、庁内の連絡会も進めていただきたいと思います。

【事務局】

はい。その辺については、資料の概要版の7ページ目をご覧ください。計画の推進体制ですが、庁内組織といたしまして、資料の真ん中の辺りの下の方に檜原市環境総合計画推進会議というのがあります。これは市役所庁内の7部の部長によって構成する会議です。環境総合計画の進行管理であるとか、地球温暖化対策庁内実行計画の進行管理を行う部隊です。そこでは、通例では環境審議会の開催前に開催しておりまして、部長より関係課長へ

伝えていただく形で、進行管理していただくような形で不定期に開催しても良いかなと思っております。

【会長】

はい、よろしく申し上げます。
他いいかがでしょうか。

【副会長】

AからDの評価は私はあまり気にするほうではないのですが、この評価基準や方法などあるのでしょうか。定量的な評価と定性的なのとかが混じっていると思いますが、他の自治体でも我々はやらされるのですが、そこが苦勞するところなので、教えてください。

【事務局】

副会長がおっしゃるように、定量的にできる項目と定性的な部分もありまして、正直言いますと各課にお任せしている状況です。各課において数値化もしくは定性化をしてそれが十分超えていると認識すればA評価だと思えます。また、具体的な数字というものは各課にも求めておりませんし、環境保全課でもかなり項目はありますが、ある程度課の中での判断で、「できた」「できない」とさせていただいておりますので、この辺りはもう少し具体的に数字の定量化が量れるものについては、これをクリアすればA、この範囲であればBという形をしていった方が、今後はこういう場で「なぜAなのか」「なぜBなのか」と言われた時に、はっきりご説明できるかなと思えますので、今後につきましては他の課も含めまして、あるラインという「ここまでできればA」「ここまでではB」という形を求めていきたいと思えます。

【副会長】

特にAがどうのこうの言うわけではないが、出来たら出来るだけAにさせていただいて、Dと書いてあるのは絡みが出来てないのかなと、そういう意味合いからすると思えます。そういう面で、むしろ会長がおっしゃったようにDの方も、もっと上げてもらわないといけない、ということは、基本的な場合AからDの中で、Dの方が来年の事業計画にどれだけ反映しているというのが、よそのところでもいつも議論になります。我々の審議会の為ではなく、要は来年以降に市民の方にどう効果的に実施するかというのが大事であり、その辺りは、より効果的にフィードバックができ、効果的に回るようになっていたらより良いと思っています。

【事務局】

確かに、会長との打ち合わせ時にも話はさせていただいておりましたが、P D C Aサイク

ルで回していかないといけない中で、PDという計画し実行して、そこで満足しているところが多々ありますので、やはりその後でチェックしてアクションに結びつけるというこの辺りが環境保全課だけでなく、市の施策の中でかなりたくさんあるのではないかなと思っております。

その中で、Aになるのが良いのですが、Dであれば「なぜDなのか」「DをCにするにはどうしていけば良いのか」といったことを、今後追跡していくこと。それがやはり、来年再来年に少しでも良い方向に動いていくと思います。そういったことは今までからやっておくべきでしたが、出来てなかったのが今後は実行していきたいなと考えております。

【副会長】

逆に言うとDで、やらなくて良いと判断したものについてはやめてしまっても良いのでしょうか。ただ、やめるというのは無理だとしても、項目がかなりあるので優先をつけるためにも、また、他のところでも悩まれるところなので、お聞きしました。

【会長】

事前の事務局との打ち合わせの時に、今年は初めての年ですのでこのように並んでいるのですが（資料1）、来年度は来年度でまた今年度の評価がきますので、その時に資料の25年度分を全て書き換えてしまうのではなく、25年度評価の隣りに26年度評価がくるようにして、それが3年くらい続くとずっとDという項目が出てくると、やはり格好悪くなってきます。そういうこともやはり少し気をつけていただいて、よりCやBに上がっていくような動機付けなども考えていただきたいと思います。

それと後は、特に市民の皆様はこのAからDの評価を見られて「担当課はBを付けているが、まだBではない。Cではないか」など、そういうところでお気づきになられたことがあれば挙げていただいて、また担当課に返していくというのも審議会の役目としては重要ですので、それぞれ皆様のご興味ご関心の高いところを見ていただいて、妥当な評価が出来ているかどうかチェックしていただければと思います。

【委員】

最近、「多面的機能支払交付金」という制度がありますが、平成26年度から適用されており、住んでいる地域や田んぼの水路環境を守っていくというそういう取り組みをされていますが、それは市の施策として具体的に挙げられているのでしょうか。それはまた違うのでしょうか。

というのも多面的機能支払というのは、草を刈ったり水路を掃除したり、環境を守っていくという取り組みです。修理したりというのは次の段階ですが。第三ステップまでありまして、今年もそれに参加しているところは、産業振興課のほうで指導をしてもらっていますが、環境としてこの施策と関連はあるのでしょうか。

【事務局】

周辺の環境、街並みを綺麗にするというのは、例えばこの施策でいうと大和川一斉清掃であったりとか花いっぱい運動であったりとか、そこらあたりに関連するのではないかなと思います。あるいは、環境活動の推進施策、ボランティア用のゴミ袋の配布なども関連してくるのではないかと思います。私も初めて耳にした言葉なので産業振興課に、どういったものなのかお伺いしてみます。

【会長】

せっかく取り組んで良い方向に行っているのであれば、ぜひともこの評価はしっかりと評価していただければ良いと思います。またご確認も含めてお願いします。

他いかがでしょうか。

【委員】

この数字の見方（資料2-1,2-2）がよく分からなかったです。例えば「全体の何個」と言われたり「全体の何パーセント」と言われたりと、表現が違ったので教えていただきたいです。

【事務局】

資料2-1と2-2ですが、表の中の数字は個数になります。全体であれば103あるうちのAが16個、Bが51個、Cが24個、Dが12個ということで103個となります。円グラフの方はパーセント表示になります。例えば、基本目標3であれば23個項目がございましてAが2個、Bが12個、Cが4個、Dが5個で、こちらをパーセント表示にしますと、円グラフのようになり数字も若干変わります。

【会長】

はい、他よろしいでしょうか、他には。

【委員】

よろしいでしょうか。世界文化遺産登録の推進というのがA評価で上がっているのですが、それなりに広報活動はされていて、去年も講演会にも参加はさせていただいて、講演もとても良かったのですが、ただ、あまり檀原市内の地域レベルでの盛り上がり、とても少ないと思います。11月の始めに藤原京周辺を清掃でクリーンキャンペーンをさせていただいたのですが、大変たくさん参加していただいてそれは良かったと思うのですが、地元の方がどれだけ出てきてくれているのかと、どうしても行政関係や企業関係は来ていただいていたのですが、地元の方がどれだけ参加していただいているのかなと、いまひとつ見えないところもありますし、檀原市役所全体の雰囲気として、私が感じる範囲では何とな

く市役所全体の取り組みが、世界遺産推進課だけでやっているように思います。各課の事業で、どうも世界遺産登録に向けてという熱意が市長が熱意を持っておられるにも関わらず、何か見えてこないと思いました。ただし、各課に環境施策となるとズレるかもしれませんが、その辺、もう少し各課が世界遺産登録に向けての何か取り組みを市役所全体で盛り上げるようにしていただかないと、A評価がついていますが、そこまで盛り上がっているには見えてこないです。今、評価の話が出ましたので、思ったことを伝えました。希望としては、もう少しそういった方向で、目に見えるような熱意が感じられるようにしていただけたらなと意見として言わせていただきました。

【会長】

おっしゃるとおりで、日本でも世界遺産登録を目指している市町村はたくさん候補地として上がってきます。やはり、そういう意味では地域ぐるみの熱意が審査員にも大きなウェイトになってきます。

それと、ずっとこの審議会では言い続けておりますが、せっかくその良い観光資源をお持ちの割には、なかなかPRが下手だというのが樫原市なので、もう少しその観光をうまく活用しながらお金に換えて尚且つそれが環境に繋がっていくような、そういった取り組みがもっともっとあった方が良いのではないかと考えています。具体的には、先ほどなかなかサイクリングロードの整備も進んでないという話をさせていただきましたが、結局レンタサイクルとか自転車観光と組み合わせていけば自転車道の整備も広がっていくわけでしょうし、コミュニティバスも地元の足だけでなく、観光客と地元の方が乗り合いをするという関係でいくほうが、より効果があります。もっと具体的に言いますと、石見銀山が世界遺産登録になりましたが、あそこは大森町という町ですが、ほとんど交通機関がなかったのですが、今では10分に1本が広島駅までバスが出るようになりました。このように、うまく経済の活性化にもつながるような話が、また一方で環境活動へも繋がるようにとそういう合わせ技を考えていただくと良いかなと思います。

世界遺産登録に向けての話は直接ここに関係するかどうかと言われましたが、私ほうまく利用すれば環境の方にもうまく取り込めるのではないかと思います。

【副会長】

今の取り組みの関連ですが、環境問題が最近ではエネルギー問題も全部含まれてきてますので、この中で特徴としては良いと思っているのですが、耕作放棄地の有効活用とかそれでエネルギーを満たすとか、あるいは農山村の財源的にそれでやっていくとか、それと地域活性を結びつけるとか、その辺は会長もおっしゃられたようにかなりポテンシャルはあります。ただし、どうしても樫原市の場合は、これが特徴なのでしょうが、自然環境とか町並み保存とかもちろん一番大事ではありますが、それと同時にそういうところも併せてエネルギー問題や資源問題なども絡めてうまく活用できるのではないかと思います。この

施策でも、エネルギー問題も資源問題入っているのですが、もっと積極的にその辺は捉えることができるかなと思います。

特に、特徴的なのは廃棄物発電がありますから、これはまさにゴミを資源にして売電収入も黒字になっていますし、これだけの儲けがありますし。そういうのでこの間も言われて、今日もアピールということで報告があったと思うのですが、こういうのは非常に前向きに捉えていただきたいと思います。

【会長】

はい、ありがとうございます。

いかがでしょうか。

【委員】

この資料を読ませてもらって、今井町の空き家対策として、空き家を利用して学童保育所を作るということで、ボランティア仲間ではこの対策はとても良いことだと思っております。今井町の空き家は以前からすごく問題になっていたのも、それを学童保育所に活用できるということが、すごくみんな期待しております。来年から動きだすと思われていますが、空き家を学童保育にということはすごく良いと思います。

それとまた別のことですが、つい数日前に東京の隅田川沿いのイルミネーションがニュースで取り上げられていました。櫃原市もイルミネーションを実施されていますが、その隅田川沿いのイルミネーションは青の洞窟をイメージした真っ青なきれいなものと、桜並木をイメージしたピンクのイルミネーションだったのですが、それは隅田川沿いの商店街から出た廃油を利用して発電をされていると紹介されていました。だからイルミネーションはこれからされると思いますが、そういうのも他所では廃油を生かしてされているということなど、色々サーチしてもらって、色々生かしていただきたいと思います。

【事務局】

使用済み食用油をバイオディーゼル化して、ディーゼル発電機を動かし、LEDを光らせるような仕組みですか。

【委員】

そこまで詳しくは分からないが、そのようなものだと思います。

【会長】

それも組み合わせですね。

ついでにお話をしますと、東京タワーが50周年の時に、下でみんなで自転車を漕いでそれでイルミネーションを光らせようという楽しいイベントもありました。そういう遊び心も

良いと思われます。

【事務局】

今言っていたように、どうしても主催側は凝り固まっている部分もありますので、他市などでされているところは課内の中では理解しながら、良いものはどんどん取り組んでいけば良いのではないかと、その辺りが不足しているのではないかとというような話を部下ともしていたところでした。そういったところのご意見いただきましたので、イベントも含めましてそういう形で生かさせていただきたいと思ひます。

【会長】

先ほどの、今井町の町家を改装していくという話は、町並みを守るという意味でもあるし古い建物を活用するという自体が、省資源ですごく良い取り組みだと思ひるので進んでいけば良いですね。住宅は住宅でということではなく、色々な使い方ができるんだよということのアピールをもっとしていただけたら良いと思ひます。また、学童で使われるということであれば、若い親御さんが来られるわけですから、ひょっとするとその中で今井の古い町屋の魅力に気付かれて、住んでみたいと思われたら、より良いことだと思ひます。実際に大阪の阿倍野区の昭和町の辺りでは、町屋長屋をうまく活用しながらのカフェとか住宅のリニューアルをやっていらっしやいます。この前も月15万円で古い町屋がレンタルに出ていました。借りる方がおられるんですね。やはり、そういう温かみのある木造住宅に住みたいという方が子育て層の方でしたら、うまくPRされたら色々面白い展開が出てくるのではないかとと思ひます。ここでもシェアハウスと書いていますが、今の20代の方はシェアハウスといのが大好きな世代で、今までの方々とは少しライフスタイルも価値観も違ってきてます。そういう意味では、先ほどの学童の方々に色々展開が広がっていくと面白いのではないかとと思ひます。

他に何かありますか。

それでは、色々ご意見も賜りましたのでまた、庁内の推進会議のほうにも諮っていただいて、さらにまた来年度はより頑張っていたいただけたらと思ひます。

それでは、以上で1番目の案件を終わらせていただきまして、最後にその他ということで、せつかくの機会ですので、環境計画に限らず何か環境がらみでお話ございましたら、お伺ひしたいと思ひます。

よろしいでしょうか。

それでは、これで終了させていただきたいと思ひますが、閉会に先立ちまして来年度の環境審議会の予定を事務局から言っていたいただきたいと思ひます。

【事務局】

来年度の環境審議会ですが、資料1の施策評価と資料3の施策指標ですが、事務局が全事業に対して質問を行って回答の集約が夏前になると思います。今回は遅れてしまいましたが、出来れば夏ごろに環境審議会を開催したいと思います。今回は事務局の不手際によって、この時期になってしまい、大変申し訳ございませんでした。来年度は夏ごろに環境審議会を開催したいと思います。

【会長】

はい、ありがとうございます。

できるだけ早いうちに開いていただくと、その年度の後期の事業展開にも色々ご意見を差し上げることができると思いますので、取りまとめの手間はあるとは思いますが、取りまとめ次第、環境審議会を開催していただければ良いと思います。

今年初めてののしっかりとした審議会になりましたので、来年度は2年目ということで色々ご意見を賜れば良いと思っております。

それでは、これもちまして平成26年度榎原市環境審議会を閉会したいと思います。

ありがとうございました。

【全員】

ありがとうございました。

【事務局】

本日は、お忙しい中皆様どうもありがとうございます。先ほども申し上げましたが、審議会開催時期が遅れたことをお詫びします。限られた中の時間で色々な忌憚の無いご意見をいただきまして、大変ありがとうございます。私ども行政といたしまして、なかなか耳の痛いところ、あるいはご非難を受けるかもしれませんが、正直なところを申し上げますと、概ねネガティブな方向での発想、あまりよろしくないのですが、そういったところがございまして、これは難しいなと聞いていたところです。そういったことを留まっているようではなかなか前に進まないなと、良い意見を色々と言っていた中で出来ることについては、実行していきたいなと考えております。ご意見を賜った中で、全てをできるかというのは、難しいかも分からないですが、そうでなく出来るだけ実行していく、ただ、結果は伴わないかもしれません。しかしそれはまた、ご指摘ご教示を賜りたいと思っております。そういったこともありまして、説明ありましたとおりまだまだ目標の半ばどころか、一步踏み出したところがございます。ぜひとも皆様のお力沿いを今後ともよろしく願いたいと思います。そういうことで私、最後に挨拶させていただきました。今後ともよろしく願います。どうもありがとうございます。